

日本国際理解教育学会会員各位

『現代国際理解教育事典』編纂委員会

## 『現代国際理解教育事典（仮称）』の項目執筆者公募について

日本国際理解教育学会では、大会開催 20 周年行事の一環として、『現代国際理解教育事典（仮称）』を刊行することとなりました。本事典は、本学会の総力を結集し、21 世紀の教育のあるべき方向を示す内容にしたいと構想しています。ついては、会員からの執筆者を公募いたします。趣旨にご賛同いただき、別紙、プロットの中から執筆を希望される項目がありましたら、最大 5 項目まで列挙していただき、申込用紙に記入のうえ、8 月 20 日までにご連絡ください。但し、執筆者の選定は、編纂委員会に一任いただくことをご承知おきください。

経緯・趣旨、準備状況、申し込み方法については下記の通りです。

### 1 経緯

2009 年度の総会において、学会大会 20 周年記念事業の一環として、まず今年 2010 年に記念図書を刊行し、次いで翌 2011 年に『現代国際理解教育事典（仮称）』を刊行することが決定された。記念図書『グローバル時代の国際理解教育—実践と理論をつなぐ—』については藤原孝章編集委員長を中心に、企画・執筆依頼等、原稿検討等をへて、第 20 回聖心女子大学大会まで刊行できることとなった。次いで、『現代国際理解教育事典（仮称）』の刊行を目指し、2010 年 3 月、編纂委員会を発足させ、内容や具体的な作業手順を検討してきた。

### 2 趣旨

地球社会の現状を看視するに、地球温暖化や経済格差の増大、貧困・飢餓などに象徴される地球的課題が顕在化し、また、多文化共生社会の現実化が進行し、国際理解教育が目標としてきた市民の問い直しが求められている。

教育界の現状は、持続可能な開発（発展）のための教育、欧州の民主教育の推進、ユネスコ協同学校の復興など、新たな教育の動きが起こってきている。教育行政では「初等中等教育における国際教育に関する推進検討会議」報告書が出され、「総合的な学習の時間」の減少、小学校外国語活動が創設されるなどの施策が実施され、学校現場での教科や総合、特別活動などにおける国際理解教育のあり方、実践に影響を与えてきた。

学校外においては、地域の多文化化が進行し、地域における人権や開発のあり方をめぐって NGO/NPO の国際理解教育への関心が増し、国際理解教育の学習領域や関連領域が、学校だけではなく地域においても拡大してきた。国際理解教育の学習活動も、知識教授型の定型的な学習ではなく、参加型学習など非定型的な学習にもその範囲をひろげるようになった。

こうした状況をみると、本学会が、学会大会 20 周年を期して、国際理解教育の理念、実践方

法等を総合的に網羅した『現代国際理解教育事典（仮称）』を刊行すべき時期を迎えたと判断した。

本学会では、研究プロジェクト「ユネスコの世界遺産教育と日本の国際理解教育」、「ことばと国際理解教育」「グローバル時代のシティズンシップと国際理解教育」「持続可能な社会形成と教育：ESDの実践基盤に関する総合的研究」を継続研究してきた。また国立民族学博物館との共同研究、全国各地での実践研修会の実施、日韓中3か国協働による相互理解のための教材開発などの研究・実践活動を行ってきた。こうした本学会の知的資源を活用し、「グローバル化に対応した教育」としての国際理解教育に関わる事項を多様な視点から取り上げ、専門的な解説を加えた事典を刊行することにより、国際理解教育の研究・実践の振興・発展に資したい。

### 3 刊行にあたっての準備作業

- 2009年6月の研究大会（同志社女子大学）にて、会長・事務局から提案があり理事会で承認された。
- 2010年3月の理事会において、学会の活動として『現代国際理解教育事典（仮称）』の刊行が確認され、編集委員会の構成員として多田孝志（委員長）、大津和子、藤原孝章、森茂岳雄、中山京子が決定された。また10万円が予算化された。
- 2010年4月に編纂委員会が開催された。委員に加え、出版社明石書店の責任者も参加し、以下の方向について共通理解を得た。
  - ・ 名称を『現代国際理解教育事典（仮称）』とする。
  - ・ 各項目についての記述は、単なるキーワードの一般的解説でなく学会としての視点を示す。
  - ・ 学問的な刊行物としての水準を保つためにも刊行までに概ね2年の時間をかける。
  - ・ 実践者が多い学会の特色を生かし、特徴的な実践も取り上げて解説する。
  - ・ 20周年図書の構成に準じた内容構成とし、カテゴリーを構成する。
  - ・ A5サイズ 5000円弱 横書きとする。
  - ・ 出版社：明石書店とする。
  - ・ 第1次原稿締切：2011年2月28日（2月末）必着
  - ・ 送付先：藤原研究室気付『現代国際理解教育事典』編纂委員会（下記）

### 4 執筆申し込み先（申込締切2010年8月20日、最大5項目まで、申込用紙に記入）

〒610-0395 京田辺市興戸 同志社女子大学藤原孝章研究室  
email: tfujiwar@dw.doshisha.ac.jp Tel&Fax. 0774-65-8596

### 5 問い合わせ先

藤原研究室及び多田研究室

〒161-8538 東京都新宿区中落合4-31-1 目白大学多田孝志研究室  
email: tadatada@d3.dion.ne.jp Tel. 03-5996-3193 Fax 03-5996-3163